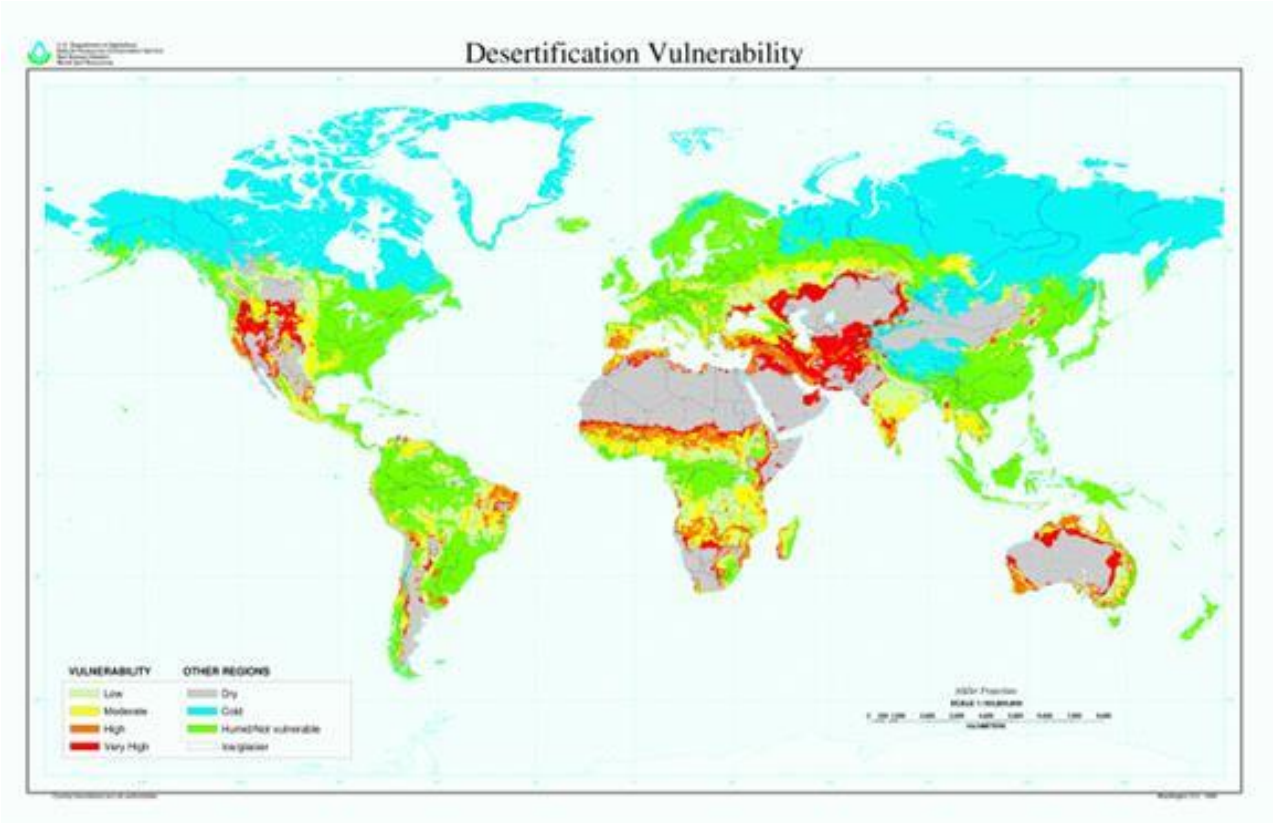
砂漠農業～デザートワイナリーの推奨～

岡部ゼミ
加藤隼太*
江尻清香
柳田真依子
加藤美優
栃木明日翔
北川隆祥

今回我々は砂漠の広大な土地に注目しました。現在砂漠は日々増え続けています。1年で約 600 万 ha(東京都の面積約 30 個分)が砂漠同様の土地の劣化に陥っているのです。



今回の研究は増加傾向にある砂漠を日本技術を応用し、持続的な方法で砂漠の土地を活用することを目的とします。

我々は砂漠緑化によく使われる、日本が開発した吸水性ポリマーを利用し、砂漠で作物を栽培することを考えました。栽培作物は、効率的に収穫でき、栽培に広大な土地を有し、砂漠での栽培に適していることからぶどうに選定しました。また、我々は収益の面からぶどうを加工し、ワインを製造することを推奨します。そして我々は国土の90%以上が砂漠であるモンゴルに着目し気候、土壌の条件を考慮した結果南ゴビ県を栽培地に選定しました。

また我々はぶどうの絞りかすを再利用し、畜産とぶどう栽培のアグロフォレストリーを利用した更なる砂漠農業の発展を研究し続けています。

この研究の詳細は発表で明らかにさせていただきます。

参考文献　砂漠緑化に命をかけて　遠山正瑛

United States Department of Agriculture　アメリカ合衆国農商務省

http://www.gwarming.com/link/link2/desert.html

http://jp.reuters.com/article/idJPTYE84S04E20120529

http://www2.tokai.or.jp/seed/seed/minna16.htm